

平成28年度

宇都宮大学教育学部推薦入試Ⅰ（A）試験問題

小論文

教育学部学校教育教員養成課程国語分野

平成27年11月27日（金）

9時00分～10時00分

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけない。
2. 「受験番号」は、解答用紙の受験番号欄に忘れずに記入すること。
3. この冊子には、1問題（1つの設問）がある。乱丁、落丁、印刷不鮮明の箇所があった場合には、申し出ること。
4. 解答用紙は、1枚である。解答は、必ず解答用紙の所定の解答欄に記入すること。所定の欄以外に記入したものは、無効である。

問題 次の文章を読んで、後の問に答えよ。

(この部分は、著作権の都合上、公開できません。)

(小林秀雄「喋しやることと書くこと」より)

注1 田中美知太郎 哲学者。西洋古典学者。一九〇二年生 一九八五年没。

注2 プラトン 古代ギリシャの哲学者。ソクラテスの弟子。前四二七年頃生 前三四七年頃没。

注3 文士 文筆に従事する人。文章家。作家。

注4 ソクラテス 古代ギリシャの哲学者。前四六九年頃生 前三九九年没。

問 この文章では、古代ギリシャの哲学者プラトンが言う、書物のデメリットと対話（問答）の有用性について述べられている。この文章に示された考えについて、あなたはと思うか。あなた自身の考えを、書物と対話とを対比させながら、六百字以上八百字以内で論述せよ。